

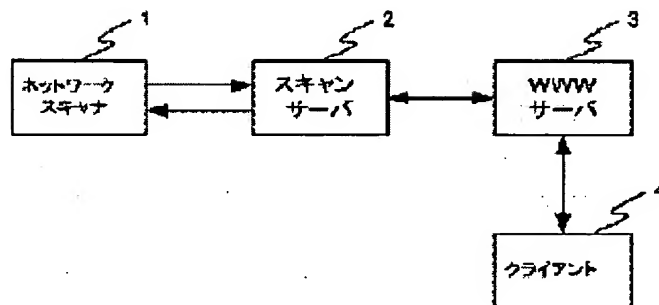
# METHOD AND SYSTEM FOR MANAGING DOCUMENT UTILIZING NETWORK SCANNER

**Patent number:** JP2001217980  
**Publication date:** 2001-08-10  
**Inventor:** OGURI MITSUSHIGE; KOMATSUBARA ATSUSHI; IWATA MASATAKE; MORI TORU  
**Applicant:** FUJI XEROX CO LTD  
**Classification:**  
- **International:** H04N1/00; G06F13/00; G06F17/30; G06T1/00  
- **European:**  
**Application number:** JP20000024244 20000201  
**Priority number(s):**

## Abstract of JP2001217980

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a method and a system for managing a document utilizing a network scanner, that can easily register a document to a WWW server so as to promote common sharing of documents.

**SOLUTION:** A job template setting a scanning condition of an original, a registration destination of a document, presence or absence of correction, and pressure or absence of a mail notice or the like is registered to a scan server 2, the network scanner 1 uses the job template to scan an original, transfers the scanning result to the WWW server 3 via the scan server 2 and the WWW server 3 conducts correction of the document, registration of it and registration notice or the like by a mail on the basis of the job template.



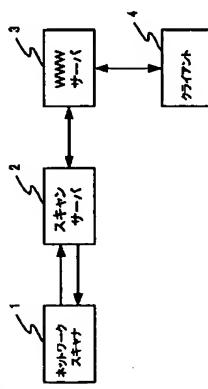
特開 2001-217980  
(P 2001-217980A)  
(43) 公開日 平成13年8月10日 (2001.8.10)

(61) Int. Cl. <sup>7</sup>	識別記号	FI	データベース (参考)
H04N 1/00	107	H04N 1/00	A 58050
G06F 13/00	351	G06F 13/00	B 58075
17/30			G 58089
G06T 1/00		15/40	F 50062
		15/62	A 330
			(全10頁)
(21) 出願番号	特願2000-24244 (P2000-24244)	(71) 出願人	000005496 富士ゼロックス株式会社
(22) 出願日	平成12年2月1日 (2000.2.1)	(72) 発明者	小栗 三繁 東京都港区赤坂二丁目17番22号 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 KSP R&D ビジネスパークビル 富 士ゼロックス株式会社内
		(72) 発明者	小松原 博 神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 KSP R&D ビジネスパークビル 富 士ゼロックス株式会社内
		(74) 代理人	100071054 弁理士 木村 高久

(54) 【発明の名称】 ネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステム

(57) 【要約】

【課題】 文書のWWWサーバへの登録を容易に行い、文書の共有化を促進することのできるネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステムを提供する。  
【解決手段】 スキャンサーバ2に原稿のスキヤン条件、文書の登録先、補正の有無、メール通知の有無等を設定したジョブテンプレートを登録し、ネットワークスキヤナ1がジョブテンプレートを介して原稿のスキヤンを行い、WWWサーバ3がジョブテンプレートに基づいて文書の補正、登録、メールによる登録通知等を行う。



【特許請求の範囲】

- 【請求項1】 ネットワークスキヤナで原稿を読み取って得た文書を登録して管理するネットワークスキヤナを利用した文書管理方法において、読み取り条件と文書の登録先を設定した少なくとも1つのジョブテンプレートをスキヤンサーバに登録し、登録されたジョブテンプレートを参照してネットワークスキヤナで原稿を読み取り、読取後を読み取った文書を前記ジョブテンプレートで指定された登録先のサーバにジョブテンプレートとともに転送することを特徴とするネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項2】 前記ジョブテンプレートに文書の補正条件を設定し、前記ジョブテンプレートで設定された補正条件に基づいて前記文書の補正を行うことを特徴とする請求項1記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項3】 前記ジョブテンプレートに文書の登録を通知するメールの送信指示を設定し、前記サーバは、前記ジョブテンプレートで設定された送信指示に基づいて前記文書の登録された旨を通知するメールを送信することを特徴とする請求項1記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項4】 前記メールは、前記文書の登録先を示す情報が記載されていることを特徴とする請求項3記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項5】 前記文書および前記ジョブテンプレートは、前記スキヤンサーバを介して前記サーバに転送されることを特徴とする請求項1記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項6】 前記ジョブテンプレートは、ウェブページとして表示され、クライアントのウェブブラウザを介して作成または編集されることを特徴とする請求項1記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項7】 前記文書は、クライアントのウェブブラウザを介してウェブページとして表示されることを特徴とする請求項1記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項8】 前記ウェブページは、前記登録された文書の管理操作時には、該文書のサムネイルイメージを表示して管理操作の実行の確認を行うことを特徴とする請求項7記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理方法。  
【請求項9】 ネットワークスキヤナで原稿を読み取って得た文書を登録して管理するネットワークスキヤナを利用した文書管理システムにおいて、読み取り条件と文書の登録先を設定した少なくとも1つ

- のジョブテンプレートを登録するスキヤンサーバと、前記スキヤンサーバに登録されたジョブテンプレートを参照し、該ジョブテンプレートで指定された条件で原稿を読み取るとともに、読取後を読み取った文書を前記ジョブテンプレートとともに指定された登録先のサーバに転送するネットワークスキヤナと、前記ネットワークスキヤナから転送された文書を登録するサーバとを具備することを特徴とするネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項10】 前記ジョブテンプレートは、前記文書の補正条件が設定され、前記サーバは、前記ジョブテンプレートに設定された補正条件に基づいて前記文書の補正を行う文書補正手段をさらに具備することを特徴とする請求項9記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項11】 前記ジョブテンプレートは、前記文書の登録を通知するメールの送信指示が設定され、前記サーバは、前記ジョブテンプレートに設定された送信指示に基づいて前記文書の登録された旨を通知するメールを作成して送信するメール送信手段をさらに具備することを特徴とする請求項9記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項12】 前記メール送信手段は、前記メールに前記文書の登録先を示す情報を記載することを特徴とする請求項11記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項13】 前記文書および前記ジョブテンプレートは、前記スキヤンサーバを介して前記サーバに転送されることを特徴とする請求項9記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項14】 前記スキヤンサーバは、前記ジョブテンプレートの作成および編集を行うウェブページを作成するジョブテンプレート作成ページ作成手段をさらに具備することを特徴とする請求項9記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項15】 前記サーバは、前記登録された文書を表示するウェブページを作成する文書表示ページ作成手段をさらに具備することを特徴とする請求項9記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【請求項16】 前記文書表示ページ作成手段は、前記登録された文書の管理操作時には、前記ウェブページに該文書のサムネイルイメージを表示して管理操作の行の確認を行うことを特徴とする請求項15記載のネットワークスキヤナを利用した文書管理システム。  
【発明の詳細な説明】

【0001】  
 [発明の属する技術分野] この発明は、ネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステムに関し、特に、WWW技術を利用して容易に文書の管理を行うことのできるネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステムに関する。

【0002】  
 [従来の技術] 近年、インターネット技術を利用して構築されたLAN (Local Area Network) と、いわゆるイントラネットを利用した文書やデータとを共有し、再利用することが多くこなわれている。【0003】イントラネットを利用する場合、クライアント側ではウェブブラウザ等の汎用アプリケーションを使用することで文書やデータの利用が行えるとともに、その操作が容易であるといった利点もある。

【0004】しかしながら、スキヤナ等を利用して電子化した文書をウェブブラウザで利用するためには、文書をWWWサーバ等に登録せねばならず、この登録に関する作業等が煩雑であった。

【0005】  
 [発明が解決しようとする課題] 上述のように電子化した文書のWWWサーバへの登録は、煩雑であるとともに、文書を複数のユーザで共有して利用する場合にも、登録した文書のURL (Uniform Resource Locator) を他のユーザへ通知する必要がある。【0006】そこで、この発明は、文書のWWWサーバへの登録を容易に行い、文書の共有化を促進することのできるネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステムを提供することを目的とする。

【0007】  
 [課題を解決するための手段] 上述した目的を達成するため、請求項1の発明は、ネットワークスキヤナで原稿を読み取って得た文書を登録するネットワークスキヤナを利用した文書管理方法において、読み取り条件と文書の登録先を設定した少なくとも1つのジョブプレートをスキヤナサーバに登録し、登録したジョブプレートを参照してネットワークスキヤナで原稿を読み取り、読取原稿を読み取って得た文書を前記ジョブプレートで指定された登録先に登録し、登録したジョブプレートを参照してネットワークスキヤナで原稿を読み取って得た文書を登録するサーバとを具備することを特徴とする。

【0008】また、請求項2の発明は、請求項1の発明において、前記ジョブプレートに文書の補正条件を設定し、前記サーバは、前記ジョブプレートで指定された登録先のサーバに前記ジョブプレートに設定された補正条件に基づいて前記文書の補正を行うことを特徴とする。

【0009】また、請求項3の発明は、請求項1の発明において、前記ジョブプレートに文書の登録を通知するメールの送信指示を設定し、前記サーバは、前記ジョブプレートで指定された送信指示に基づいて前記

【0010】また、請求項4の発明は、請求項3の発明において、前記メールは、前記文書の登録先を示す情報を記載することを特徴とする。

文書を登録された旨を通知するメールを送信することを特徴とする。

【0010】また、請求項4の発明は、請求項3の発明において、前記メールは、前記文書の登録先を示す情報が記載されていることを特徴とする。

【0011】また、請求項5の発明は、請求項1の発明において、前記文書および前記ジョブプレートの、前記スキヤナサーバを介して前記サーバに転送されることを特徴とする。

【0012】また、請求項6の発明は、請求項1の発明において、前記ジョブプレートの、ウェブページとして表示され、クライアントのウェブブラウザを介して作成または編集されることを特徴とする。

【0013】また、請求項7の発明は、請求項1の発明において、前記文書は、クライアントのウェブブラウザを介してウェブページとして表示されることを特徴とする。

【0014】また、請求項8の発明は、請求項7の発明において、前記ウェブページは、前記登録された文書において、管理操作時には、前記スキヤナサーバに示して管理操作実行の機能を行うことを特徴とする。

【0015】また、請求項9の発明は、ネットワークスキヤナで原稿を読み取って得た文書を登録して管理するネットワークスキヤナを利用した文書管理システムにおいて、読み取り条件と文書の登録先を設定した少なくとも1つのジョブプレートを登録するスキヤナサーバと、前記スキヤナサーバに登録されたジョブプレートとを参照し、前記ジョブプレートで指定された条件で原稿を読み取るとともに、読取原稿を読み取って得た文書を前記ジョブプレートとともに指定された登録先のサーバに転送するネットワークスキヤナと、前記ネットワークスキヤナから転送された文書を登録するサーバとを具備することを特徴とする。

【0016】また、請求項10の発明は、請求項9の発明において、前記ジョブプレートは、前記文書の補正条件が設定され、前記サーバは、前記ジョブプレートに設定された補正条件に基づいて前記文書の補正を行う文書補正手段をさらに具備することを特徴とする。【0017】また、請求項11の発明は、請求項9の発明において、前記ジョブプレートは、前記文書の登録を通知するメールの送信指示が設定され、前記サーバは、前記ジョブプレートに設定された送信指示に基づいて前記文書を登録された旨を通知するメールを作成して送信するメール送信手段をさらに具備することを特徴とする。

【0018】また、請求項12の発明は、請求項11の発明において、前記メール送信手段は、前記メールに前記文書の登録先を示す情報を記載することを特徴とする。

【0019】また、請求項13の発明は、請求項9の発

等を行う。

【0028】クライアント4は、ウェブブラウザを利用してWWWサーバ3にアクセスし、登録されている文書の閲覧やダウンロード等を行うことができる。

【0029】ここで、WWWサーバ3について説明する。図2は、WWWサーバ3の概略構成を示したブロック図である。

【0030】図2に示すように、WWWサーバ3は、制御部31とWebページ作成部32、交換処理部33、文書格納部34、送受信部35、メール作成部36を具備して構成される。

【0031】制御部31は、WWWサーバ3の全体を制御し、Webページ作成部32は、登録された文書の表示等を行うためのウェブページを作成し、必要に応じて文書のサムネイルイメージをも生成する。交換処理部33は、文書の回転や傾き補正、ノイズ除去等の補正、文書フォーマットの交換、文書に対する圧縮処理等を行う。文書格納部34は、登録された文書を格納される部である。送受信部35は、ネットワークとのインタフェースであり、文書やコマンド等の送受信を行う。メール作成部36は、文書の所定登録時等に指定されたメールアドレスへ通知するためのメールを作成する。

【0032】ここで、クライアント4のウェブブラウザに表示される画面例を参照してWWWサーバ3での処理について説明する。図3乃至図6は、クライアント4のウェブブラウザに表示される画面の画面例を示した図である。

【0033】クライアント4のウェブブラウザから所定のURLへのアクセスを行うと、ウェブブラウザには、図3に示す画面100-1が表示される。この画面100-1では、WWWサーバ3に登録されている文書がサムネイルイメージにより表示されている。この画面100-1は、Webページ作成部32により作成されるページであり、1文書 (画、各ページにかかわらず) を1枚のサムネイルイメージで表している。このサムネイルイメージ上でマウスのダブルクリック等の操作を行うと、ウェブブラウザには、図4に示す画面100-2のように当該文書が表示される。画面100-2では、当該文書が複数ページで構成されている場合には、ページを切り替えて全てのページを閲覧することができる。

【0034】また、画面100-1、100-2では、サムネイルイメージの他に、「左90度」ボタン101、「右90度」ボタン102、「180度」ボタン103、「ダウロード」ボタン104、「削除」ボタン105が表示されている。

【0035】「左90度」ボタン101、「右90度」ボタン102、「180度」ボタン103は、それぞれ文書を回転する処理を行わせるもので、画面100-2では表示されている文書を、画面100-1では、サムネイルイメージ下のチェックボックスで指定された文書

明において、前記文書および前記ジョブプレートの、前記スキヤナサーバを介して前記サーバに転送されることを特徴とする。

【0020】また、請求項14の発明は、請求項9の発明において、前記スキヤナサーバは、前記ジョブプレートの作成および編集を行うウェブページを作成するジョブプレートの作成ウェブページ手段をさらに具備することを特徴とする。

【0021】また、請求項15の発明は、請求項9の発明において、前記サーバは、前記登録された文書を表示するウェブページを作成する文書表示ウェブページ手段をさらに具備することを特徴とする。

【0022】また、請求項16の発明は、請求項15の発明において、前記文書表示ウェブページ手段は、前記登録された文書の管理操作時には、前記ウェブページに文書のサムネイルイメージを表示して管理操作実行の機能を行うことを特徴とする。

【0023】

【発明の実施の形態】 以下、この発明に係るネットワークスキヤナを利用した文書管理方法およびシステムの一実施の形態について図面を参照して詳細に説明する。

【0024】図1は、この発明を適用した文書管理システムの概略構成を示すブロック図である。図面に示すように、文書管理システムは、ネットワークスキヤナ1とスキヤナサーバ2、WWWサーバ3、クライアント4を具備して構成され、これらは、ネットワークを介して接続されている。なお、ここでは、クライアント4を1つのみしか図示していないが、実際には複数のクライアントがネットワーク接続されている。

【0025】ネットワークスキヤナ1は、原稿を読み取って文書を電子化し、スキヤナサーバ2へ転送するが、このとき、後述するジョブプレートを利用してスキヤナ条件や文書の転送先等の設定を行うことが可能となる。このジョブプレートは、スキヤナサーバ2に登録されているものを定期的にポーリングし、メモリ上にキャッシュしておく。また、ジョブプレートを利用して電子化した文書をスキヤナサーバに転送する場合には、利用したジョブプレートを文書に添付して送信する。

【0026】スキヤナサーバ2は、ジョブプレートを登録されている他、ネットワークスキヤナ1から転送された文書を格納する。ただし、転送された文書にジョブプレートが添付されていた場合には、当該ジョブプレートの指定された文書登録先に文書を転送する。文書の登録先は、WWWサーバ3や図示しないデータベース等である。

【0027】WWWサーバ3は、登録された文書をウェブページとして表示するとともに、クライアント4やジョブプレートに基づいて文書の補正や交換

が回転される。文書の内容は、変換処理部33で行われ、図5に示す画面100-3のようにサムネイルイメージも回転される。

【0035】「ダウロード」ボタン104は、選択した文書（選択方法は回転の場合と同じ）のダウンロードを指示するボタンであり、このボタンを押下した際には、図示しない設定画面において、任意の文書フォーマットの文書（フォーマットと異なる場合には、変換処理部33で文書フォーマットの回転が行われ、任意の文書フォーマットで文書フォーマットの変換が施される。また、文書のダウンロード時には、図示しない画面において、文書一覧がサムネイルイメージで表示され、サムネイルイメージを選択することでダウンロードを行う文書を選択できる。

【0037】「削除」ボタン105は、選択した文書（選択方法は回転の場合と同じ）の削除を指示するボタンであり、このボタンを押下した際には、ウェブブラウザに、図6に示す画面110が表示される。画面110には、サムネイル表示欄111と文書選択欄112、【OK】ボタン113等が表示されている。サムネイル表示欄111には、削除対象と指定された文書のサムネイルイメージが表示され、表示を切り替えることで複数ページの文書も前ページを確認することができ、文書選択欄112は、画面100-1で複数の文書が選択された場合に、選択された文書のリストが表示される欄で、ここで文書の選択を行うことで、サムネイル表示欄111に表示するサムネイルイメージを切り替えることができる。サムネイル表示欄111と文書選択欄112とを用いて削除対象の文書を確認した後に、【OK】ボタン113を押下すると、対象文書が削除される。

【0038】また、画面100-1、100-2には、図示しなかったが、表示された文書の処理を指示するボタンとしては、傾き補正やノイズ除去等のボタンもあり、回転や削除の場合と同様にサムネイルイメージを参照してこれらの補正処理を指示することもできる。なお、これらの補正処理は、変換処理部33で施される。【0039】ところで、上述したWWWサーバ3での各処理は、ネットワークスキャナ1での原稿のスクリーン時にジョブテンプレートを利用することでWWWサーバ3への登録時に行うことができる。

【0040】ここで、ジョブテンプレートについて説明する。ジョブテンプレートは、文書の登録先や文書名、スクリーン条件、メールによる登録通知を行う際や毎が設定されており、スクリーン条件2に登録されている。ネットワークスキャナ1は、スクリーン条件2に定期的にポーリングを行うことによってジョブテンプレートを取得してメモリ上にキャッシュしている。

【0041】図7は、ネットワークスキャナ1のコントロールパネルの一部を示した図である。ネットワークスキャナ1のコントロールパネル200には、タッチパネル

ル201とスタートボタン202が具備されており、ジョブテンプレートの使用時には、タッチパネル201にジョブテンプレートの選択画面が表示される。

【0042】このタッチパネル201の操作により使用するジョブテンプレートを選択することができるが、ここでは、ジョブテンプレートの詳細を確認したり、ポーリングを待たずに最新のジョブテンプレートへの更新を指示することもできる。

【0043】タッチパネル201の操作で使用するジョブテンプレートを選択した後に、スタートボタン202を押下すると、これをトリガに原稿のスクリーンが開始され、スクリーンされた文書は、使用したジョブテンプレートとともにスクリーンサーバ2へ転送される。

【0044】次に、ジョブテンプレートでの設定項目とジョブテンプレートの作成方法について説明する。ジョブテンプレートは、クライアント4がウェブブラウザを介してスクリーンサーバ2にアクセスすることで作成、編集を行う。図8乃至12は、ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図である。

【0045】クライアント4からウェブブラウザを介してスクリーンサーバ2にアクセスし、メニューからジョブテンプレートの作成を選択すると、ウェブブラウザには、図8に示す画面300-1が表示される。画面300-1では、ジョブテンプレートの名前や説明、対応機種（ネットワークスキャナ）等を設定する属性設定欄301と、文書の登録先や文書名、スクリーン条件、メールによる登録通知を行うか否か等を設定する条件設定欄311が表示される。また、条件設定欄311は、タブ310、320、330、340のいずれかを選択することとで設定項目を切り替えることができる。

【0046】属性設定欄301で設定する「ジョブテンプレート名」と「ジョブテンプレート説明」は、ネットワークスキャナ1のタッチパネル201に表示される項目であり、これによりジョブテンプレートを識別する。ネットワークスキャナの機種を選択するが、ここで設定により、ネットワークスキャナ1は、適合するジョブテンプレートのみをポーリングすることになる。

【0047】また、タブ310を選択して表示される条件設定欄311では、登録する文書の保存先を設定するほか、文書の登録時にWWWサーバ3で処理可能な補正等の項目を設定する。

【0048】また、タブ320を押下した場合には、図9に示す画面300-2のように条件設定欄321が表示される。ここで表示される条件設定欄321では、スクリーン条件として、原稿の傾斜や読み取りサイズ、解像度、カラーモードを設定できる。カラーモードとしてフルカラーを選択した場合には、明度やコントラストを設定することができ、カラーモードとして白黒2値を選択した場合には、図10に示す画面300-3の条件

とWWWサーバ3を別構成として説明したが、これに限定されるわけではなく、スクリーンサーバ2とWWWサーバ3が同一マシン（コンピュータ）で稼働する構成としてもよい。

【0056】【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば、ジョブテンプレートに原稿のスクリーン条件、文書の登録先、補正の有無、メール通知の有無等を設定し、ネットワークスキャナでジョブテンプレートを介してWWWサーバに登録するように構成したので、文書をスクリーンする際に文書の登録等の作業が全て自動で行われ、ユーザの文書登録時の負担が軽減し、文書の共有化を促進することができ、

【図面の簡単な説明】  
【図1】この発明を適用した文書管理システムの概略構成を示すブロック図である。  
【図2】WWWサーバ3の概略構成を示したブロック図である。

【図3】クライアント4のウェブブラウザに表示される画面の画面例を示した図（1）である。  
【図4】クライアント4のウェブブラウザに表示される画面の画面例を示した図（2）である。  
【図5】クライアント4のウェブブラウザに表示される画面の画面例を示した図（3）である。  
【図6】クライアント4のウェブブラウザに表示される画面の画面例を示した図（4）である。  
【図7】ネットワークスキャナ1のコントロールパネルの一部を示した図である。

【図8】ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図（1）である。  
【図9】ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図（2）である。  
【図10】ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図（3）である。  
【図11】ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図（4）である。  
【図12】ジョブテンプレート作成時のウェブブラウザの表示画面を示した図（5）である。

【符号の説明】  
1 ネットワークスキャナ  
2 スクリーンサーバ  
3 WWWサーバ  
4 クライアント  
31 制御部  
32 Webページ作成部  
33 変換処理部  
34 文書格納部  
35 送受信部  
50 メール作成部

【0054】WWWサーバ3では、変換処理部33が受信した文書に対して条件設定欄311で設定された補正等の処理を施し、その後、条件設定欄331で指定された文書名を付して文書格納部34に格納する。続いて、Webページ作成部32が、クライアント4のウェブブラウザに表示するためのページを作成するとともに、条件設定欄341でメー

設定欄322のように、読み取り速度を設定するように画面表示が変更される。なお、属性設定欄301での「対応機種名」にモノクロ専用機を指定した場合には、タブ220を押下した際にカラーモードは白黒2値に固定され、機種に応じた条件のみが設定可能となる。

【0049】タブ330を押下した場合には、図11に示す画面300-4のように条件設定欄331が表示される。登録する文書の文書名を設定することができ、例えば、文書名として「ジョブテンプレート名」＋「番号」を設定しておく、このジョブテンプレートを使用して10ページの原稿をスクリーンすると、その文書名として「template-0001」～「template-0010」が文書名として付される。

【0050】また、タブ340を押下すると、図12に示す画面300-5のように条件設定欄341が表示され、文書の登録時にメールによる通知を行うか否かを設定することができ、メール通知を行うように設定した場合に、通知先のメールアドレスを指定する。メールアドレスは、個人でもグループでもよく、これにより当該文書を共同利用するユーザへの通知が自動的に行われることになる。

【0051】ここで設定によりユーザへ通知されるメールには、文書の登録先を示す情報、例えば、URLを記載してもよい。ユーザは、ここに記載された文書の登録先を示す情報を用いて文書を参照することにより、文書の参照を容易に行うことができる。

【0052】このようにして設定したジョブテンプレートは、ネットワークスキャナ1で原稿をスクリーンされる際に使用されると、条件設定欄321、322で設定したスクリーン条件に基づいてネットワークスキャナ1が動作し、スクリーンにより得た文書とともに当該ジョブテンプレートをスクリーンサーバ2に転送する。

【0053】スクリーンサーバ2では、受信した文書をジョブテンプレートの条件設定欄311で指定された保存先である（ここでは）WWWサーバ3にジョブテンプレートとともに転送する。

【0054】WWWサーバ3では、変換処理部33が受信した文書に対して条件設定欄311で設定された補正等の処理を施し、その後、条件設定欄331で指定された文書名を付して文書格納部34に格納する。続いて、Webページ作成部32が、クライアント4のウェブブラウザに表示するためのページを作成するとともに、条件設定欄341でメー

特開2001-217980

特開2001-217980

(7)

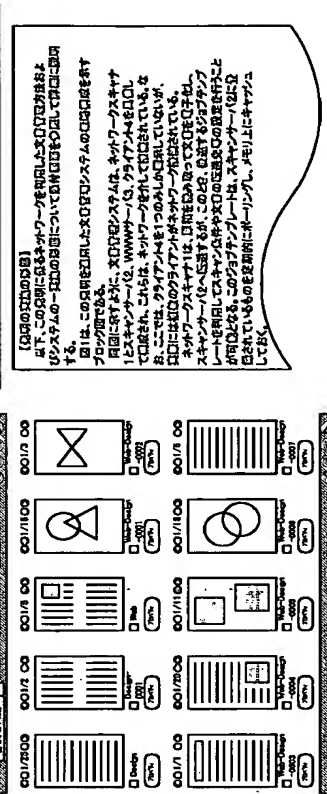
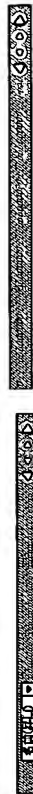
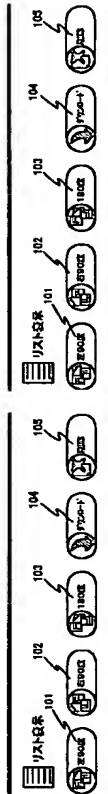
- 11
- 100-1, 100-2, 100-3 画面
- 101 「左90度」ボタン
- 102 「右90度」ボタン
- 103 「180度」ボタン
- 104 「ダウロード」ボタン
- 105 「削除」ボタン
- 110 画面
- 111 サムネイル表示欄
- 112 文書選択欄
- 113 「OK」ボタン
- 200 コントロールパネル
- 201 タッチパネル
- 202 スタートボタン
- 300-1~300-5 画面
- 301 属性数値欄
- 310 タブ
- 311 条件数値欄
- 320 タブ
- 321 条件数値欄
- 322 条件数値欄
- 330 タブ
- 331 条件数値欄
- 340 タブ
- 341 条件数値欄

【図3】

【図4】

100-2

100-1



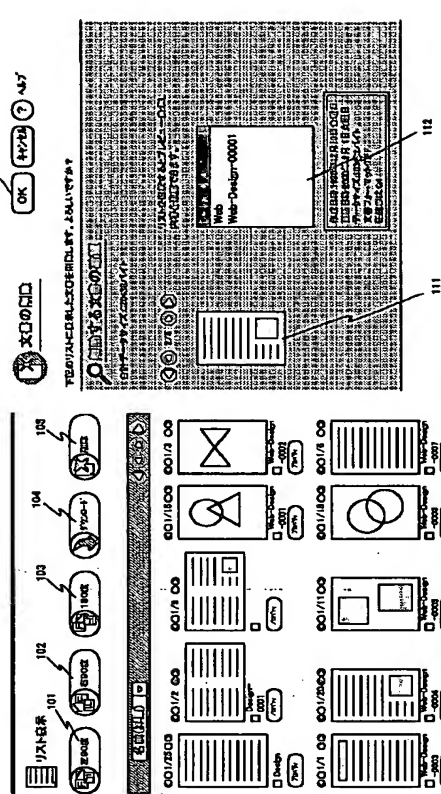
【図5の注】  
以下、この図面に示される各ボタンは、スクリーン上の表示領域に配置され、ユーザがこれらボタンを押下することによって、本装置の動作が制御される。  
図1は、この装置の動作を示すフローチャートである。  
100-1の画面では、スタートボタン102が押下されると、100-2の画面が表示される。  
100-2の画面では、属性数値欄301、タブ310、条件数値欄311、タブ320、条件数値欄321、条件数値欄322、タブ330、条件数値欄331、タブ340、条件数値欄341が表示される。  
この画面では、ユーザが属性数値欄301の値を変更することができる。  
また、タブ310を選択すると、条件数値欄311の値を変更することができる。  
また、タブ320を選択すると、条件数値欄321の値を変更することができる。  
また、タブ330を選択すると、条件数値欄331の値を変更することができる。  
また、タブ340を選択すると、条件数値欄341の値を変更することができる。  
また、スタートボタン102を押下すると、100-3の画面が表示される。  
100-3の画面では、サムネイル表示欄111、文書選択欄112、OKボタン113が表示される。  
この画面では、ユーザがサムネイル表示欄111から文書を選択することができる。  
また、文書選択欄112から文書を選択することができる。  
また、OKボタン113を押下すると、文書の印刷が開始される。

【図6】

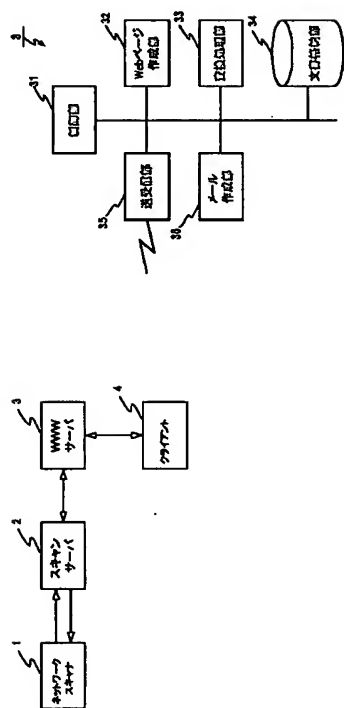


【図7】

100-3



【図1】



【図2】

